

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会
会 長 畔柳 信雄

実業団テニスの日本一を決める第32回テニス日本リーグが、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

大会開催に際しましては、日頃実業団テニスの活動に暖かいご理解を頂き、その発展にご尽力頂いている各企業の皆様と、ご観戦ご声援を頂いている観客の皆様方のご支援の賜物と、深い敬意を表すると共に感謝申し上げます。

今大会、ここまで勝ち抜き見事に日本リーグ出場を果たされました各社の監督、選手、スタッフの皆様にご心よりお祝い申し上げます。

選手の皆様には、日頃の練習の成果と団体戦ならではの「チームワーク」を発揮されて、悔いのない戦いを見せて頂きたいと期待いたします。

皆様ご存知の通り、私ども日本テニス協会は「フェアプレー」を推進しています。「試合前のあいさつと握手」「フェアなプレー」「試合後のあいさつと握手」を、各社を代表する選手として、すべての世代の選手達の模範となって頂きたいと願っております。

最後になりましたが、ご後援を頂いております日本経済新聞社様、並びにご協賛を頂いておりますヨネックス株式会社様をはじめ多くの協力会社様、また大会開催・運営にご尽力頂いておりますすべての関係者の皆様にご心から感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会
実業団委員会

委員長 矢澤 猛

国内最高峰の実業団チーム戦でありますテニス日本リーグが、日本テニス協会の数多くのテニス大会の中で、本年度最後のビッグイベントとして今年も盛大に開催出来ることをとても嬉しく思います。

全国各地域での予選を勝ち抜き、10月に広島広域公園テニスコートにて開催しました第31回全国実業団対抗テニストーナメントでの活躍で、男子は上位4チーム、女子は上位2チームに入り、見事この第32回テニス日本リーグへの出場資格を得られた実業団チームの皆さん、おめでとうございます。また昨年の優勝チーム、残留チームの皆さん、準備は大丈夫ですね。来年2月に東京体育館で開催される決勝トーナメントに出場するには、まだまだブルボンビーンズドームと横浜国際プールで行われるブロックリーグに勝ち抜いていかなければなりません。特にこのテニス日本リーグは12月から2月にかけて、とても寒い時期に開催されます。選手の皆さんには、風邪などひかないように、体調をベストコンディションに出来るように心がけ、日頃の練習成果を思う存分発揮し、素晴らしいプレーをしていただきたいと思います。

実業団委員会では長年フェアプレイ精神の啓蒙活動を行ってきました。社会人の方々に、試合に対する心構えなど、スポーツマンシップの精神はいまさら言うまでもありませんが、ジュニアの大会などでは、時折残念な場面がみられることがあります。JTAでは昨年「セルフジャッジ5原則」を作成し、これを実践するよう推進しております。また対戦相手をリスペクトする気持ちを、試合の前にもお互いに認識しようと、試合前の握手を推進しております。実業団選手の皆様も是非ご賛同頂き、若い人たちのお手本となるよう心がけて頂きたいと思えます。より良いマナーとフェアプレイ精神で、精神的にも肉体的にも鍛え上げ、社旗を背負っての東京体育館で頑張りをを見せてください。会社や家族の応援の皆さんは、きっと勝負にはこだわらず、それぞれの選手の頑張りに心からの拍手を送って下さると思えます。

最後になりましたが、長年に亘ってご後援を賜っております日本経済新聞社様、ご協賛頂いておりますヨネックス株式会社様をはじめ、主管いただきます各地域協会、都県協会の皆さま、並びに関係者の皆さまにお礼を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。